



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職員（野辺山宇宙電波観測所助教）

1. 助教1名
2. (1) 野辺山宇宙電波観測所
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学
4. 今回公募する助教には、野辺山45 m望遠鏡、ALMAなどのミリ波サブミリ波を中心とした自身の科学研究および45 m望遠鏡による成果を出すためのさまざまなサイエンスプロモーションを推進していただきます。そのうえ、業務として野辺山宇宙電波観測所が推進している運用の簡素化、自動化、可視化を念頭に置きつつ、次のどちらかの役割を担っていただきます。
 - 1) 科学運用チームリードとして、45 m望遠鏡の科学運用（共同利用観測方針作成、共同利用ウェブ管理、プロポーザル審査監督、観測スケジュールリング、観測データの品質管理、観測自動化などを含む）を遂行する。
 - 2) システムチームリードとして、45 m望遠鏡装置全般および太陽強度偏波計の運用・保守（共同利用観測方針作成補助、システム運用、システム保守、大学等外部グループとのインターフェース）を遂行する。

これらの職務に加えて会議等での科学的・技術的議論ができ、さまざまなレポートを執筆する英語力が必要です。

5. (1) 決定後なるべく早い時期、
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動させることがあります）
6. 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. 以下の書類をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください。
 - (1) カバーレター、(2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほか、グループで行った研究・開発の場合は果たした役割と貢献度を具体的に記入してください）
 - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）、
 - (4) 主要論文3編のpdfコピー、(5) 職務に対する抱負と計画、(6) 本人について意見を述べられる方（複数）の氏名と連絡先、(7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先（E-mailアドレス、電話番号）。
8. 2015年5月7日（木）17時（日本時間）必着
9. (1) E-mail（応募専用）：apply-nro-assis20150507_AT_ nao.ac.jp（_AT_を@で置き換える。以下同様）メールのSubject欄に“application for Assistant Professor of NRO”と明記してください。
(2) 国立天文台野辺山宇宙電波観測所長 齋藤正雄
E-mail: masao.saito_AT_ nao.ac.jp
メールのSubject欄に“question on Assistant Professor of NRO”と明記してください。
10. ・すべての応募書類（上記7.の(1)~(7)）はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること。
・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください（メール一通最大10 MB程度まで）。
・郵送や直接持参による応募は受け付けません。
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません。
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届

かない場合には、apply-nro-assis 20150507_AT_ nao.ac.jp へお問い合わせください。

11. 給与待遇は、年俸制となります（年額の12分の1を月額支給）。
- ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

大阪大学・大学院理学研究科・助教

1. 助教2名（下記A, Bの分野各1名）
2. (1) 宇宙地球科学専攻・宇宙惑星進化学講座
(2) 大阪大学・豊中キャンパス
3. A: 宇宙物理学（理論）
B: 赤外線天文学
4. A: 広い意味での宇宙物理学理論研究のフロンティアを、観測的事実にも目を配りながら推し進めるとともに、教育と大学運営に積極的に貢献できる方を求めます。
B: 赤外線観測（可視光、電波も含む）による太陽系外惑星系研究などの宇宙物理学研究、あるいは先進的装置開発に携わるとともに、教育と大学運営に積極的に貢献できる方を求めます。
5. (1) 平成27年10月1日あるいはそれ以前
(2) なし
6. 博士の学位、あるいは同等以上の学識を持つ者。
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト（主要論文3～5編をマーク）、(3) これまでの研究内容（A4で4頁程度）、(4) 研究・教育に関する今後の計画と抱負（A4で2頁程度）、(5) 意見を聞ける方3名以内の連絡先。
8. 平成27年5月7日（木）必着
9. (1) 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1
大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻専攻長 常深 博
E-mail: application@ess.sci.osaka-u.ac.jp
(2) A: 同上 長峯健太郎
Tel: 06-6850-5481
E-mail: kn@vega.ess.sci.osaka-u.ac.jp
B: 同上 芝井 広
Tel: 06-6850-5501
E-mail: shibai@ess.sci.osaka-u.ac.jp
10. 応募書類は、A, Bどちらの応募かを明記し、簡易書留または書留で送付するか、PDFファイル

（10 MB以内）にまとめて電子メールで送付してください。後者の場合は受領確認の返信をします。応募書類は返却しません。

11. 通常の任期なし助教待遇ですが、阪大の規定により原則として年俸制が適用されます。詳細については上記に問い合わせてください。大阪大学は男女共同参画の方針に基づき女性の応募を歓迎します。

国立天文台研究教育職員（チリ観測所准教授）

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所
(2) 勤務地：チリ共和国サンティアゴ市
3. 電波天文学
4. 本准教授の公募では、電波天文観測の十分なバックグラウンドに基づき、運用期のチリ・合同ALMA観測所（JAO）の国際職員として、ALMA望遠鏡の性能を十分に引きだし、リーダーシップをもってJAOに在籍する研究者や運用チーム等を牽引する能力と意欲をもった方を求めます。JAOの以下に例示する職務の一部を分担していただくことを期待します。
 - ・観測所の科学運用実務の統括
 - ・ALMA望遠鏡システム評価や科学評価の推進
 - ・効率的な国際ALMA観測所の運用と保守の実現
 これらの職務と並行して、ALMAを用いた自身の科学研究を推進するとともに、JAOの若手研究スタッフに研究上の助言をしていただきます。その結果として、国際計画であるALMAの中で日本のプレゼンスを上げることに貢献していただきます。Face-to-face会議やビデオ会議、電話会議等での科学的・技術的議論ができる英語力は必須です。
5. (1) 決定後なるべく早い時期、(2) なし（定年65歳）
6. 関連分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等とみなせる方
7. 以下の書類（英文）をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください。(1) カバーレター、(2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください）、(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）、(4) 主要論文3編のpdfコピー、(5) 職務に対する抱負と計画、(6) 本人について意見を述べられる方（複数）の氏名と連絡先、(7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先（E-mail

アドレス、電話番号).

8. 2015年5月7日(木) 17時(日本時間) 必着
9. (1) E-mail (応募専用): apply-agma-assoc20150507_AT_ao.ac.jp (AT_を@で置き換える) メール Subject欄に“application for Associate Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください.
- (2) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫
E-mail: tetsuo.hasegawa_AT_ao.ac.jp (AT_を@で置き換える) メール Subject欄に“question on Associate Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください.
10. ・すべての応募書類(上記7. の(1)~(7))はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること.
・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール1通最大10 MB程度まで).
・郵送や直接持参による応募は受け付けません.
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません.
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします. それが届かない場合には、apply-agma-assis20150507_AT_ao.ac.jpへ(AT_を@で置き換える)お問い合わせください.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します. 詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>をご覧ください.

国立天文台研究教育職員(チリ観測所助教)

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所
(2) 勤務地: チリ共和国サンティアゴ市
3. 電波天文学
4. 本助教の公募では、チリの合同ALMA観測所の国際職員として、ALMA望遠鏡システム評価や科学評価を分担するとともに、効率的な国際ALMA観測所の運用と保守を実現させることや、観測所の科学運用(観測スケジューリング、観測の実行、観測データの解析と品質管理、システム品質保証、キャリアレーションの実行、当番天文学者、プロポーザルの技術審査などを含む)の一部に貢献する能力と意欲をもった方を求めます.

これらの職務と並行して、ALMAを用いた自身の科学研究を推進していただきます. Face-to-face会議やビデオ会議、電話会議等での科学的・技術的議論ができる英語力は必須です.

5. (1) 決定後なるべく早い時期, (2) なし(定年65歳)
6. 関連分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等とみなせる方
7. 以下の書類(英文)をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください. (1) カバーレター, (2) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと), (4) 主要論文3編のpdfコピー, (5) 職務に対する抱負と計画, (6) 本人について意見を述べられる方(複数)の氏名と連絡先, (7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(E-mailアドレス、電話番号).
8. 2015年5月7日(木) 17時(日本時間) 必着
9. (1) E-mail (応募専用): apply-agma-assis20150507_AT_ao.ac.jp (AT_を@で置き換える) メール Subject欄に“application for Assistant Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください.
(2) 問合せ先: 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫
E-mail: tetsuo.hasegawa_AT_ao.ac.jp (AT_を@で置き換える) メール Subject欄に“question on Assistant Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください.
10. ・すべての応募書類(上記7. の(1)~(7))はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること.
・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール1通最大10 MB程度まで).
・郵送や直接持参による応募は受け付けません.
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません.
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします. それが届かない場合には、apply-agma-assoc20150507_AT_ao.ac.jpへ(AT_を@で置き換える)お問い合わせください.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女

共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>をご覧ください。

国立天文台チリ観測所プロジェクト研究員 (年俸制特任研究員)

1. 年俸制特任研究員 1名
2. 東京都三鷹市，東アジアALMA地域センターARC (チリ，欧州，北米，台湾，韓国等)に出張の可能性がります)
- 3, 4. 勤務時間の50%を用いて，ALMA等を用いて自身の研究を推進していただくとともに，勤務時間の残りの50%を業務にあて，ARCサポート・アストロノマーとしてALMAの科学運用(共同利用)の支援，ALMAの科学評価データの解析(論文執筆を含む)，またはALMAに係る開発(装置，ソフトウェア)のうち一つ以上を行っていただきます。

ALMAについては，<http://alma.mtk.nao.ac.jp/>を参照してください。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 原則として着任日より3年間ですが，年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし，平成16年4月以降，すでに国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は，通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。再任は，個別事項に述べられている場合を除き，審査のうえ，1回に限り可能です。ただし再任後の任期は半年以上2年以下で，通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。
6. 博士の学位を取得した者または2015年9月30日までに取得見込みの者。取得見込みの場合はその時期を記載のこと。ALMAのデータ(アーカイブを含む)の解析経験があることが望ましい。
7. (1) カバーレター，(2) 履歴書，(3) 研究歴，(4) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し，共著論文の場合は全著者名と応募者の役割を記載すること)，(5) 主要論文3編以内のpdfファイル，(6) 研究と職務に関する計画，(7) 推薦者の名前，(8) 連絡先(メールアドレス，電話)。応募書類は英文で書きpdfファイルにすること。推薦者2名に締切日までに提出先に推薦書を送付するようお願いしてください。
8. 2015年6月1日(月) 正午(日本時) 必着

9. (1) (応募書類，推薦書とも)：国立天文台チリ観測所 長谷川哲夫
e-mail: [tetsuo.hasegawa<AT>nao.ac.jp](mailto:tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp)
(<AT>を@で置き換える) メール1通に添付するファイルのサイズを10 MB以内に抑え，メールサブジェクトに「プロジェクト研究員応募(または推薦書)」と明記すること。
(2) 国立天文台チリ観測所 立松健一
e-mail: [k.tatematsu<AT>nao.ac.jp](mailto:k.tatematsu@nao.ac.jp)
(<AT>を@で置き換える)
10. 応募書類が届いた確認のメールを休日を除き2日以内に送るので，それが届かない場合は指定の間合せ先に連絡してください。
11. 裁量労働制の常勤職員として月額30万円の給与および通勤手当，年間50万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。健康保険，年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス，退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。年一回，サイエンス・リープが認められます。
国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し，男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており，業績の評価において同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

国立天文台チリ観測所 ASTE 研究員 (年俸制特任研究員)

1. 年俸制特任研究員 1名
2. 東京都三鷹市(チリに出張の可能性がります)
- 3, 4. 勤務時間の50%を用いてASTE望遠鏡を用いた自身の研究を推進していただくとともに，ALMAも用いた研究への発展やその他の望遠鏡とも連携した研究を行うことが期待されます。勤務時間の残り50%を業務にあて，ASTE望遠鏡の運用の支援(共同利用支援等)，ASTEに係る開発(装置，ソフトウェア)のうちの一つ以上を行っていただきます。
ASTE望遠鏡については，<http://alma.mtk.nao.ac.jp/aste/>を参照してください。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 原則として着任日より3年間ですが，年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし，平成16年4月以降，既に国立天文台研究員として勤務した期

間がある場合は、通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。再任は、個別事項に述べられている場合を除き、審査のうえ、1回に限り可能です。ただし再任後の任期は半年以上2年以下で、通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した者または2015年9月30日までに取得見込みの者。取得見込みの場合はその時期を記載のこと。
 7. (1) カバーレター、(2) 履歴書、(3) 研究歴、(4) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は全著者名と応募者の役割を記載すること）、(5) 主要論文3編以内のpdfファイル、(6) 研究と職務に関する計画、(7) 推薦者の名前、(8) 連絡先（メールアドレス、電話）。応募書類は英文で書きpdfファイルにすること。推薦者2名に締切日までに提出先に推薦書を送付するようお願いしてください。
 8. 2015年6月1日（月）正午（日本時）必着
 9. (1) (応募書類、推薦書とも)：国立天文台チリ観測所 長谷川哲夫
e-mail: tetsuo.hasegawa<AT>nao.ac.jp
(<AT>を@で置き換える) メール1通に添付するファイルのサイズを10 MB以内に抑え、メールサブジェクトに「ASTE研究員応募（または推薦書）」と明記すること。
 - (2) 国立天文台チリ観測所 奥田武志
e-mail: takeshi.okuda<AT>nao.ac.jp
(<AT>を@で置き換える)
 10. 応募書類が届いた確認のメールを休日を除き2日以内に送るので、それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡してください。
 11. 裁量労働制の常勤職員として月額30万円の給与および通勤手当、年間50万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。健康保険、年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

鹿児島大学 大学院理工学研究科 物理・宇宙専攻教員

1. 第107巻第7号
2. 新永浩子（国立天文台 特任准教授）
3. 2014年12月1日

賞の推薦

平成27年度（第56回）東レ科学技術賞・研究助成の候補者推薦のお願い

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせいたします。

I. 東レ科学技術賞（概要）

1. 候補者の対象……天文学に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著な方
 - (2) 学術上重要な発見をした方
 - (3) 効果が大きい重要な発明をした方
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方
2. 科学技術賞……2件以内。1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円。
3. 候補者推薦件数……天文学会から2件以内

II. 東レ科学技術研究助成（概要）

1. 候補者の対象……天文学に関する分野で、国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的基礎研究に従事し、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下）
2. 研究助成……総額1億3千万円、1件3千万円程度まで計10件程度
3. 候補者推薦件数……日本天文学会から2件以内
※I, IIとも締切期日は平成27年9月1日（火）
日本天文学会必着
※推薦書用紙は日本天文学会事務所まで。
※各推薦書用紙は、ホームページからもダウンロードできます
(平成27年6月中頃から可)。

第6回(平成27年度)「日本学術振興会育志賞」 受賞候補者の推薦依頼

日本天文学会から推薦を希望される方は①～③の手続きをお願いいたします。

- ①以下の提出書類を紙バージョンで学会事務局宛にお送りください。
 - ・日本学術振興会 育志賞推薦書
 - ・推薦理由書 A・B
 - ・研究の概要等
- ②日本天文学会事務局応募締切
 - ・2015年5月10日(日)
- ③日本学術振興会育志賞の概要、応募の詳細は下記 URL 参照
<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>
http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/data/suisen_youkou.pdf

研究会・集会案内

体験学習プログラム

「第14回君が作る宇宙ミッション」募集要項

宇宙航空研究開発機構(JAXA)では、高校生(および相当年齢の方)を対象とした体験学習プログラム「君が作る宇宙ミッション」の参加者を募集しています。JAXA相模原キャンパスに4泊5日の合宿形式で滞在しながら、数人のチームごとに宇宙ミッションを立案・研究し、最終日に発表を行います。期間中は多くの研究者を交えた意見交換により、本格的な知識を得ることができます。宇宙科学の最前線を体験できる、JAXAならではの魅力的なプログラムとなっています。

期間：2015年8月3日(月)～8月7日(金)

主催：宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙教育センター・宇宙科学研究所主催

会場：JAXA相模原キャンパス(相模原市中央区由野台3-1-1)

対象：高校生、あるいは相当年齢の方(高専は3年次まで)

定員：20名程度(応募者多数の場合は作文による選考)

参加費用：参加費用：会場までの交通費、5日間の食事代

(保険料はJAXA負担。JAXA宿泊施設を利用する場合は宿泊費無料)

詳細はホームページの募集要項に記載されていますので、そちらをご覧ください。

応募方法：ホームページの募集要項をよく読み、指示に従って申し込んでください。

応募者多数の場合は、作文により選考を行います。国際宇宙ステーション(ISS)に、高校生が自由に使える実験棟が新設されることになったとします。あなたなら、どのような実験を提案しますか(詳しくは公式サイトを参照)。

ホームページURL：<http://www.isas.jaxa.jp/kimission/>

締切日：6月1日(月)必着

応募結果：6月下旬までに本人宛に郵送

問合せ先：「君が作る宇宙ミッション」事務局

TEL: 050-3362-4662

(平日9:30～17:30, 土日祝日を除く)

FAX: 042-759-8612

E-mail: kimission@jaxa.jp

※状況により、日程、定員、参加費用などに変更の可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

会務案内

ご寄附のお願い

日本天文学会の主な事業は会員の会費により行っていますが、以下の表彰・助成事業

- ・日本天文学会 内地留学奨学金
- ・日本天文学会 研究奨励賞
- ・日本天文学会 早川幸男基金
- ・日本天文学会 林 忠四郎賞

は皆様のご寄附によって運営しています。これら事業を今後も円滑に継続していくために、改めて皆様のご寄附をお願いいたします。上記事業の年間経費はそれぞれおおよそ25万円、50万円、400～500万円、60万円ですが、特に日本天文学会内地留学奨学金および日本天文学会研究奨励賞の2017年度末残高が120万円、130万円と見込まれており、ご配慮いただけましたら幸いです。

当学会は2012年末より公益社団法人として認定され、寄附者が税制上の優遇(所得控除)を受けられるようになりました。また現在、税額控除対象法人の申請を目指しており、その要件としてできましたら年間3,000円以上のご寄附をお願いいたします。

ご寄附の際は、用途指定の有無に合わせて、次ページ1～5のそれぞれの口座へお振込をお願いします。申し訳ありませんが振込手数料はご自身のご負担とさせていただきます。

ています。またお振込と併せて、件名「寄附申込書」として右記の項目を当学会までメール、郵送、またはFAXでお送りください。ご入金の確認後、寄附金領収書を郵送いたします。ご不明な点はお問い合わせください。

これら事業を永く継続し実りあるものになりたいと考え、皆様からのご援助を心から期待しております。

振込口座（口座名義は「日本天文学会」）

- 1 日本天文学会 内地留学奨学金：
みずほ銀行 調布支店 普通預金 1431069
- 2 日本天文学会 研究奨励賞：
ゆうちょ銀行 店番号008 普通預金 2338307
- 3 日本天文学会 早川幸男基金：
三菱東京UFJ銀行 武蔵境支店 普通預金 1154726
- 4 日本天文学会 林 忠四郎賞：
みずほ銀行 調布支店 普通預金 1431077
- 5 用途を指定しない寄附金：
三菱東京UFJ銀行 三鷹支店 普通預金 4434400

寄附申込書

- ご芳名・おふりがな（または団体名および代表者の役職とご芳名・おふりがな）
- ご住所・郵便番号
- 電話番号・電子メールアドレス
- お振込日
- お振込名義人・おふりがな（ご芳名と異なる場合）
- 金額
- 寄附の対象（左記振込口座の1～5からお選びください）

寄附申込書送付先・お問合せ先

公益社団法人日本天文学会

〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

e-mail: jimuj@asj.or.jp

Fax: 0422-31-5487, Tel: 0422-31-1359

（会長 櫻井 隆）

公益社団法人日本天文学会へ2014年9月1日～2015年3月2日に入会承認された方、移籍された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会（83名）

- | | | | |
|-------|---------------------------|---------------|---------------------------|
| 川久保雄太 | 青山学院大・大学院理工（在学） | 中谷創平 | 埼玉大・大学院理工（在学） |
| 森岡真代 | 東北大・大学院理（在学） | 加藤智隼 | 名古屋大・大学院工（在学） |
| 宮武宇也 | 高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所 | 仁井田真奈 | 愛媛大・大学院理工（在学） |
| 石垣真史 | 東京大・大学院理（在学） | 土屋智恵 | 放送大・文化科学（在学） |
| 藤本征史 | 東京大・宇宙線研究所（在学） | 前島将人 | 名古屋大・大学院理（在学） |
| 播金優一 | 東京大・宇宙線研究所（在学） | 武田美保 | 大阪府立大・大学院理（在学） |
| 李 兆衡 | JAXA・宇宙科学研究所 | 新田大輔 | 名古屋大・大学院理 |
| 福江 翼 | 神戸市外国語大 | 中田めぐみ | 日本大・大学院理工（在学） |
| 道山知成 | 国立天文台／総研大・大学院理（在学） | 福田遼平 | 九州大・大学院理（在学） |
| 木下将臣 | 名古屋大・大学院理（在学） | 小山田涼香 | 信州大・大学院総合工学（在学） |
| 桂川美穂 | JAXA・宇宙科学研究所／東京大・大学院理（在学） | 川畑佑典 | JAXA・宇宙科学研究所／東京大・大学院理（在学） |
| 小早川 大 | 東京大・大学院理・天文学教育研究センター（在学） | 井上翔太 | 大阪大・大学院理（在学） |
| 松本洋介 | 千葉大・大学院理 | 小川拓未 | 京都大・大学院理（在学） |
| 公地千尋 | JAXA・宇宙科学研究所／東京大・大学院理（在学） | 廣瀬公美 | 京都大・大学院理（在学） |
| 加藤ちなみ | 早稲田大・大学院先進理工（在学） | 菊地直道 | 首都大学東京・大学院理工（在学） |
| 犬塚慎之介 | 早稲田大・大学院先進理工（在学） | 近藤 徹 | 名古屋大・大学院理（在学） |
| 田川寛通 | 国立天文台／東京大・大学院理（在学） | 大矢正人 | 日本大・大学院理工（在学） |
| 橋本一彦 | 京都大・大学院理（在学） | 菅原悠宇紀 | 山形大・大学院理工（在学） |
| 石黒直行 | 名古屋大・大学院理（在学） | Johan Muhamad | 名古屋大・太陽地球環境研究所（在学） |
| | | 浅野豪士 | 愛知教育大・大学院教育（在学） |
| | | 早川 賢 | 大阪教育大・大学院教育（在学） |
| | | 鈴木雄太 | 東北大・大学院理（在学） |

福澄孝博	北海道大・大学院工・物質化学	庄田宗人	東京大・大学院理 (在学)
伊豆丸 翔	愛知教育大・大学院教育学 (在学)	高田大樹	東北大・大学院理 (在学)
甲斐晋二	JAXA・宇宙科学研究所／東京工業大・大学院理工 (在学)	堀内貴史	信州大・大学院総合工学 (在学)
樋口祐一	国立天文台	漆原宏亮	名古屋大・理 (在学)
倉嶋 翔	首都大学東京・都市教養 (在学)	越本直季	大阪大・大学院理 (在学)
花岡美咲	名古屋大・大学院理 (在学)	近藤恵介	総研大・物理 (在学)
桑原啓介	首都大学東京・大学院理 (在学)	山崎公大	東北大・大学院理 (在学)
宮崎直人	首都大学東京・大学院理 (在学)	岩井將親	JAXA・宇宙科学研究所 (在学)
齊藤滉介	大阪府立大・理 (在学)	貴村 仁	大阪教育大・大学院教育 (在学)
森前和宣	大阪府立大・理 (在学)	仲井琢哉	大阪教育大・大学院教育 (在学)
米田晴玲	神戸大・大学院理 (在学)	楊 毅	国立天文台／総研大・物理 (在学)
山元萌黄	国立天文台／総研大 (在学)	河村聡人	京都大・大学院理 (在学)
磯江麻里	国立天文台／東京大・大学院理 (在学)	杜 駿	東京大・宇宙線研究所 (在学)
藤下祐人	名古屋大・大学院理 (在学)	菊池勇輝	東京大・大学院理・天文学教育研究センター (在学)
加藤翔大	名古屋大・大学院工 (在学)	福寫大樹	大阪教育大・大学院教育 (在学)
Wu Ronin	東京大・大学院理・天文	満田和真	東京大・大学院理・天文学教育研究センター (在学)
瀬沼一真	青山学院大・大学院理工 (在学)	寺尾航暉	愛媛大・大学院理工 (在学)
玉澤裕子	東京大・大学院理 (在学)	加藤雄人	東北大・大学院理・地球物理
川内紀代恵	東京工業大・大学院理工 (在学)	鷲野遼作	京都大・大学院理 (在学)
今谷律子	大阪大・大学院理 (在学)	山本 亮	東京大・大学院理 (在学)
坂野井 健	東北大・大学院理 惑星プラズマ・大気研究センター	笠 嗣瑠	国立天文台／総研大・物理 (在学)

準会員入会 (27名)

志水秀行	国立天文台	西村優里	東京大・大学院理 (在学)
高橋康夫	秋田県立大・システム科学技術 (在学)	吉田健人	東京大・大学院理 (在学)
櫻井理永	国立天文台／東京大・大学院理 (在学)	藤沼 洸	埼玉大・大学院理工 (在学)
倉持一輝	名古屋大・太陽地球環境研究所	大屋瑠子	東京大・大学院理 (在学)
山崎高幸	東京理科大・大学院理 (在学)	高倉 理	大阪大・大学院理 (在学)
伊藤由裕	日立製作所日立総合病院	岩崎仁美	東北大・大学院理 (在学)
木村 泰	日本学術会議事務局	LOPEZ-SEPULCRE, ANA	東京大・理・物理
竹澤正明	東京大・大学院理 (在学)	神谷浩紀	国立天文台・岡山
海老澤勇治	宗像ユリックスプラネタリウム	金田和鷹	東北大・大学院理 (在学)
鈴木善陽	埼玉大・大学院理工	羽田龍一郎	東北大・大学院理 (在学)
角田佳昭	茨城大・大学院理工 (在学)	筒井寛典	国立天文台・岡山天体物理観測所
富田朝木		梶田聡史	東海大・大学院理 (在学)
松岡俊介		馬場楓子	国立天文台／東京大・大学院理 (在学)
長 紀仁			

移籍 [準→正] (2名)

柴田克典	国立天文台
岩崎仁美	東北大・大学院理 (在学)

正会員退会 (4名)

大井瑛仁	中井善寛	田中靖夫	海老沢嗣郎
------	------	------	-------

準会員退会 (1名)

山崎 昭

2014年度ご寄付者名

(敬称略／受付順)

和南城伸也, 川中宣太, 佐藤明達, 柴田一成, 前原裕之, 柴崎清登, 柴山拓也, 野津湧太, 野津翔太, 野上大作, 青木和光, 木下 宙, 菅野松男, 熊谷紫麻見, 齋藤正雄, 森田泰弘

編集委員会より

退任の言葉

私が月報委員に加わったときは柏川編集長時代でした。おもしろい企画をなにか(とにかく)考えてくるように、という指令を受けてソフトウェア紹介というシリーズを企画し、まずは知り合いの方々に記事を依頼する、というところから始まった月報委員の仕事でした。記事を書いてくれそうな方々の顔がまだまだ思い浮かぶのに、日々の忙しさに負けてなかなか記事を集められなかったことが心残りですが、後はフレッシュな委員の方々にお任せしたいと思います。天文学会事務所の山崎さんから編集校正の催促メールがもらえなくなるのが少々寂しいですが、これからは一読者として天文月報を応援します(読むだけでなく、書くようにと言われてそうですが)。4年間ありがとうございました。

(市来浄與)

月報編集委員を4年間務めさせてもらいました。ほかの仕事で忙しいときに原稿の確認をしないといけないこともしばしばで、そんなときには面倒な仕事を引き受けたものだど後悔したこともあります。校正のため記事を精読させてもらって他分野の研究の最前線を知ることができるという良い面もありました。私の無茶な記事の取り立てに協力してくださった執筆者の方々、どうもありがとうございました。これからも読者として天文月報を愛読していきます。

(勝川行雄)

天文学会の年度区切りが12月末から3月末に変わったため、今期の委員は3月末退任と任期が3カ月長くなりました。4年3カ月前の着任はつい最近のことに思えます。原稿中の校正すべき箇所を見逃して悔しい思いをしたことも、よい思い出です。在任中はVERA特集号を組んだのが唯一の成果で、それ以外は小さい原稿をいくつか書いていただけで所信表明の挨拶文のようにはいきませんでした。今後は一読者として、たまには記事を投稿したいと思います。読者の皆さま、記事を投稿して下さった皆さま、編集委員の皆さま、毎月の編集会議でお茶菓子の差し入れをくださり、また、仕事の調整などもすべて引き受けて下さった天文学会事務所の山崎さん、4年間たいへんお世話になりました。ありがとうございます。

(廣田朋也)

任期中はたいへんお世話になりました。最初は慣れない仕事で戸惑うこともありましたが、編集長や他の編集委員、山崎さんのおかげで何とかやることができました。任期の前半は「シリーズ：科学館・公開天文台の最新の活動状況」を担当させていただいたことが特に印象に残っています。任期の後半は新しい企画などもできず、役に立てなかったことが残念ではありますが、今後はより多くの方に天文月報を読んでもらえるよう、宣伝活動などに努めたいと思います。

4年間、ありがとうございました。

(前野将太)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード(5桁の数字と) **vol98**(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長)、市来浄與、大栗真宗、勝川行雄、富永 望、平松正顕、廣田朋也、馬場 彩、前野将太、町田正博、吉田二美

平成27年4月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2015年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)